



「継続は力なり」



吉野川市立鴨島小学校
校長室だより 第28号
令和5年7月3日

学校教育目標：自他の生命と人権を尊重し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成

第1学期終業式(7/20)に向けて ～一日一日を大切に～

7月(文月)になりました。梅雨明けももうそこまできています。

さて、第1学期の授業日もあと12日。来る20日(木)の終業式まで、45分間の授業を大事にして、一日一日を大切に積み重ねていきたいと思えます。ご家庭でも子どもたちの体調管理に加えて、夏休みに向けた家庭学習の習慣化・定着化が図れるようよろしくお願いいたします。



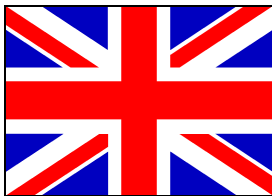
<自分の運命は自分で割り上げていく>

人生100年時代と言われています。そうすると今の子どもたちは、これから80年以上生きることになるわけで、22世紀まで生きていくこととなります。このように長い人生をどのように歩いていくのか、どのような人生にしていくのかは子どもたち次第です(もちろん親御さんはじめ、周りの支援やサポートも必要ですが)。当然のことながら、自分の人生は自分で切り拓いていくこととなります。これが自立ということとなります。

こうしたことを考えたとき、次の言葉が大いに参考になるのではないのでしょうか。

**「考えは言葉となり、言葉は行動となり、
行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」**

これは、英国(イギリス)初の女性宰相(首相)となったマーガレット・サッチャー(1925



～2013)さんが述べた言葉です。自分の考えを言葉として発し、それを行動化することで習慣となり、習慣は人格にも影響を及ぼし、ひいては運命をも変えていくという意味です。つまり、考え方を変え、地道にそれを実践していけば人生を変えることができるということです。

サッチャーさんは、当時は「鉄の女」と言われていました。鉄のように意志が固かったためです。きっとサッチャーさんはこの言葉を信じ、実践することで自らの人生を切り拓いていったのでしょう。

自分の人生を自ら望む方向へ切り拓くには、自分の生活を振り返り、見つめ直し、これまでの考えを変えることからスタートしてみることも必要かもしれません。これは、学習面・生活面だけでなく、人間関係にも当てはめて考えることもできます。

人生100年時代を迎え、子どもたちには自分の人生(将来)を強く、たくましく生き抜いてほしいと願っています。



7日(金)は七夕。子どもたちの健やかな成長を願ってくださる地域の方々のお陰で、今鴨島駅前中央通りアーケードには、子どもたちの願いが込められた七夕飾りが展示されています。昨今の世知辛い世の中、七夕の日くらいは、心に夢や希望を抱いて夜空を眺めながら過ごしてみるのもいかがでしょうか。

今後も子どもたちのがんばりをホームページで紹介いたします。是非ご覧ください。

「校長室・学年」だよりは、HPではカラーで見ることができます→



鴨小QRコード